

11/4

33年ぶりの結婚式

飯山復活教会に喜びの鐘



歴史ある教会で33年ぶりの挙式。親族はじめ住民らも祝福した



喜びの相子夫妻

中野市岩井へ移住 相子恭平さんと靖子さん

飯山の本町交差点から東北方面に広がる「広小路異境」のシンボルにもなっている飯山復活教会で30日、33年ぶりに結婚式が執り行われた。近年にはなかった晴れの舞台上に親族をはじめ教会関係者や近隣住民らも集まって2人の門出を祝福した。

式を挙げたのは中野市岩井の相子恭平さん(27)と靖子さん(28)。出身は群馬県と埼玉県だが、東京藝術大学大学院で彫刻を専攻していた恭平さんが震災に遭った栄村の復興祈念ミニメントを制作したことが縁で県内を訪れるようになり、同じ大学の工芸科で染



平野さんがウェルカムドリンクとケーキを来場者にサービス

色を学んだ靖子さんとの結婚を機に二人で制作できる環境を求めて昨年5月、中野市内のアパートに移住。その後岩井の中古住宅を購入、リフォームし、4月から新居で暮らしている。

飯山復活教会には昨年夏、飯山市本町商店街協同組合の滝澤博信代表理事の案内で訪れ、その後両親を連れて訪れたところ「ここで結婚式を挙げたら」と言われ、教会に問い合わせると快諾が得られた上に関係者の協力も得られて9月下旬には挙式を決めた。準備は2人が中心となって進めたが、教会関係者や近隣住民も協力。「同じ方向を向いていると感じたし、いいものが作れる」と2人

を喜ばせた。同教会で33年前に式を挙げた金子謙一さん(66・秋津大久保)とまゆ美さん(61)夫妻も「次の結婚式をずっと待っていた」と歓迎。当日は教会関係者としてサポート役にまわり「2人のこれからの芸術活動の良ききっかけになれば」と喜んだ。また広小路界隈で洋菓子店を営み、地域再生に取り組みたいやま広小路会議のメンバーでもある平野信一さん(57・福寿町)は参列者にコーヒールケーキを振る舞って歓待。「歴史ある復活教会を中心に町づくりをして活性化していきたい」と話していた。